

【From Kobe 12月】師走の便り

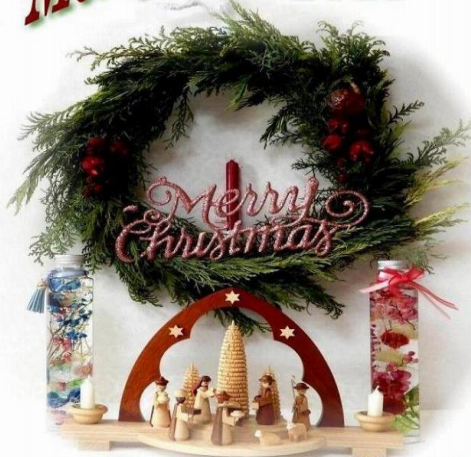
2018.12.15.. Mutsu nakanishi



Merry Christmas!! クリスマスおめでとう

平和な暮らし とともに生きるありがたさをかみしめ 心新た

Merry Christmas!
2018



Kikuko作

Got be with You!!

Mutsu Nakanishi from Kobe



良し悪しは別にして、何はともあれ 混乱・変革の時代

気持ちは「いたりきたり」です が、若者たちに期待しつつ、穏やかで平和な暮らしを祈ります。

また、老化・病気 災害など困難に直面している仲間や多くの人たちにも、希望の道が開けますよう

いつも 思いをはせています。「忘れまい 忘れないで 仲間がいることを」



神戸ルミナリエ 今年もたくさんの笑顔にであえました 20018.12.8.





お互い日々老いを感じる歳に仲間かがいる
仲間の笑顔を活力に!! お互い体調に気を付けて

God be with You!! 神とともにいます
12月 師走 Mutsu Nakanishi

本年最後のホームページ更新 やっと師走の更新を終えることが出来ました。

今年も私の勝手なページにお付き合いいただき、ありがとうございました。

今年はたたら製鉄の謎に迫る記事を提供・発信することができず、また もっと新しい情報を提供せねばと
思いながらも、四季折々の歳時記を追うばかりになってしまいました。

好奇心もあり、おかげで行動できる体力・気力もありますが、日に日に老いを感じる歳に。

知力・記憶力の衰えは御しがたく、定時更新もむづかしくなってきましたが、

思いつくまま気の向くまま home page 発信をつづけたいと。ひきつづきよろしくお願いします。

高齢化が進む日本社会にただよう閉塞感。 また、何が真実か 見定めがむづかしい情報社会。

おりしも、「平成」の時代の終焉 世界と立ち向かう新しい時代は若者たちの手で。

かつての栄光・成功体験を盾に「おれでなければ・・・」

この老害が目余る いまこそ 「やってみなはれ!!」と静かにリタイヤ願いたい。

高齢者も 新しい処し方 役割を担わなければ・・・

そして、人生 100 年 Happy Days を手中にと また 勝手なぶつぶつ

でも ラグビー スタンドにすわると ふつふつと勇気が湧いてくる。

なにはともあれ 今を元気に 今日も一日 Good Day !!

お互い 日々老いを感じる歳に

でも 仲間かがいる 仲間の笑顔を活力に!!

お互い体調に気を付けて 神とともにいますと 前向いて 我が道を行く

God be with You!! 2018. 12 月 師走

Mutsu Nakanishi from Kobe



URL: <http://www.infokkna.com/ironroad/2018htm/2018mutsu/fkobe1812uchihashi.pdf>

空虚な言葉が氾濫する社会 今を感じる違和感を作品に

空虚な言葉が氾濫する社会

「旅の最中はキャーキャー楽しんでたので、一緒だった友人はショックを受けたみたい」と語る本谷有希子さん



きっかけは昨年、友人と行った海外旅行だった。期待した街の雰囲気と違う。友人ともぎくしゃくする。陰湿なムードなのに、スマートフォンで撮った写真は楽しげだ。「写真を見返していると、なんつまらない場面でもポーズとか取って楽しそう。空っぽだって分かってるんだけど、自分の脳内に快樂物質みたいなものが出ていて楽しい」2016年2月の芥川賞受賞後、作家の本谷有希子さんは書きあぐねていた。実際に体験した出産、育児という「当たり前」に女性作家が書くだろう題材に全く手応えがなくて、「静かに、ねえ、静かに」(講談社) 写真Ⅱに収められた短編「本当の旅」を着想した。

本谷有希子さん新著

今感じる違和感を作品に

静かに、ねえ、静かに、
本谷有希子

で共有し、一緒にいるのにLINE(ライン)でも話す3人。旅でのちょっとしたトラブルや不快な要素が写真に写り込んだら削除する。深刻な危機が近づいてもラインでのんきに会話するだけ。「見たくない現実が大きいほど、逃避する力も巨大になる。そのエネルギーを書きたかった」SNSに執着する3人とも仕事は不安定で貧しく、年齢も直視しない。ハネケンは「友人と楽しいことをシェアしたり、嫌なことにウケたりすることで、現実を僕ら

言いたくなるだろう。収録された3作に共通するのは「持たざる者」のイメージだ。短編「でぶのハッピーバースデー」に登場するのは職を失ったばかりの夫婦。クリスマスパーティーのプレゼント交換に、夫は「なんの関係があるんだよ?」「そんなことが俺達の人生に」と怒る。滑稽でも悲しい彼らの姿は、他人の記念日をSNSでのぞき見る、私たち自身のいびつさのようだ。SNSに警鐘を鳴らしたのではなく、社会のありのままを描いただけだと本谷さんは「私の違和感すら1年後にはまひしていく。少しでもおかしいと感じられるうちに作品にしておきたかった」

文化消息

アジア図書館協議会「あなたが留めてほしい」19日19時、大阪市東淀川区淡路の同図書館。ベトナムからの留学生らが増える中、ベトナムを理解するのが狙い。講師はベトナム出身のグエン・ティ・フエン・チャンさん。言葉や文化などを紹介する。1300円。定員20人(要電話予約)。同館 ☎06・63321・1839

ご興味くだされば、上記の記事 記サイトにもありますので 拡大してご覧ください。

URL: <http://www.infokkna.com/ironroad/2018htm/2018mutsu/fkobe1812motoya.pdf>